

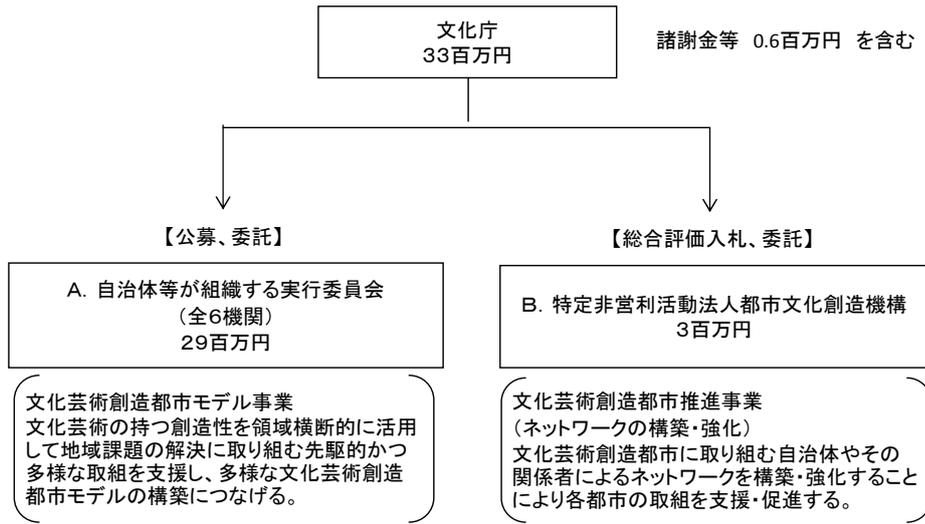
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		文化芸術創造都市の推進		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成21年度		担当課室	長官官房政策課		政策課長 大木 高仁		
会計区分		一般会計		施策名	XII-4 文化芸術振興のための基盤の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		文化芸術振興基本法第7条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) 文化発信戦略に関する懇談会報告書				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用して地域課題の解決に取り組む先駆的かつ多様な取組を支援し、我が国における多様な文化芸術創造都市モデルの構築につなげる。また、文化芸術創造都市に取り組む自治体やその関係者によるネットワークを構築・強化することにより各都市の取組を支援・促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		文化芸術創造都市モデル事業では、自治体、文化ボランティアやアートNPO等の市民団体等により組織する実行委員会に委託することにより、当該実行委員会が作成する実施計画に沿った事業(文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用して地域課題の解決に取り組むもの)を実施し、多様な文化芸術創造都市モデルを構築する。ネットワークの構築・強化では、シンクタンク等の団体に委託することにより、文化芸術創造都市に関する情報の収集・提供、セミナー・研修の開催等を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	—	3	34	35	34	
			補正予算	—	0	0	0		
			繰越し等	—	0	0	0		
			計	—	3	34	35	34	
		執行額	—	3	33				
執行率(%)	—	100.0	97.1						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		創造都市ネットワーク会議への参加自治体数		成果実績	—	—	9	21	30
				達成度	%	—	30	70	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		文化芸術創造都市モデルの構築及びネットワークの構築・強化のために行う事業の箇所数		活動実績 (当初見込み)	箇所	—	1	7	—
							(7)	(7)	
単位当たりコスト		5(百万円/箇所)		算出根拠	モデル事業1箇所当たり5百万円の予算を確保しているため。なお、予算枠を前提として事業(7箇所)の採択を行っており、1箇所当たりの(平均)コストを算出する意義は乏しい。				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	文化芸術振興委託費		34	33					
	職員旅費等		1	1					
計		35	34						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	文化芸術創造都市モデル事業において、受益者を文化芸術創造都市に取り組む自治体と考えた場合、H22年度は一定額を上限としたところ、今後、委託費の配分方法を見直すべきか否か検討を要するため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	文化芸術創造都市モデル事業の成果目標ないし評価指標の設定は今後の検討課題であるため。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	文化芸術創造都市ネットワークの構築・強化については、ネットワークを可視化するとともに、より持続的な運営体制を確立する必要がある。また、文化芸術創造都市モデルの構築については、今後、事業の実施状況を踏まえつつ、事業形態を含め検証することが求められる。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、多様な文化芸術創造都市モデルの構築や文化芸術創造都市ネットワークの充実・強化等に関する委託事業であり、経費の効率化の観点から検証する。</p> <p>2. 所見：本事業については、平成21年度から実施しているところであるが（文化芸術創造都市モデルの構築については平成22年度から）、これまでの成果を検証するとともに、引き続き、より効率的な事業実施等により、コスト削減に努めるべきである。</p> <p>なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>本事業の公募に際してより広範囲への周知を行い契約の競争性、公平性、透明性を確保するほか、これまでの事業成果を踏まえて「ネットワークの充実・強化」に重点化を図るとともに、委託件数等を見直し、概算要求に▲3百万円反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>参考HP：http://www.bunka.go.jp/ima/souzou_toshi/suishiniigyo.html</p>			

※平成22年度実績を記入



諸謝金等 0.6百万円 を含む

【公募、委託】

【総合評価入札、委託】

A. 自治体等が組織する実行委員会
(全6機関)
29百万円

B. 特定非営利活動法人都市文化創造機構
3百万円

文化芸術創造都市モデル事業
文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用
して地域課題の解決に取り組む先駆的かつ
多様な取組を支援し、多様な文化芸術創造
都市モデルの構築につなげる。

文化芸術創造都市推進事業
(ネットワークの構築・強化)
文化芸術創造都市に取り組む自治体やその
関係者によるネットワークを構築・強化すること
により各都市の取組を支援・促進する。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	広報・宣伝費、印刷費等	2			
	人件費	事業の実施に係るもの。	2			
	その他	講演謝金、出席謝金、借損料等	1			
	計		5	計		0
	B. NPO法人都市文化創造機構			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	事業の実施に係るもの。	3				
計		3	計		0	

支出先上位10者リスト

A.文化芸術創造都市モデル事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会	「田園都市型・文化芸術創造都市」を目指す各種事業を通して、地域特有の優れた文化芸術・観光資源の活性化と発信を推進する。	5	企画競争	100
2	CPS Thru Arts 実行委員会	港湾地域の衰退に伴い空洞化した歴史的建築物(旧神戸生糸検査所)に文化芸術の創造性を注ぎ込み、神戸の産業を牽引した港湾地域を創造的な人々が集う地域へと転換する。	5	企画競争	100
3	金沢クリエイティブ・ツーリズム実行委員会	クリエイティブ・ツーリズム資源(アート&クラフトの工房、ギャラリー、町屋、茶室等)を巡るシステムを構築することにより、滞在型観光を推進する。	5	企画競争	100
4	篠山市文化芸術創造農村実行委員会	文化芸術活動を通して過疎地域を再評価・再発見する目を養い、過疎地域で元気に暮らす力を創造することにより、農村環境や景観、暮らし文化の継承を行う。	5	企画競争	100
5	りっとう元気創出コミュニティアートプロジェクト実行委員会	文化芸術と地域資源(人・まち・歴史・景観)、地域課題を基点に、「コミュニティアートプロジェクト」や「表現や教育普及活動と地域資源が交差・交響する活動」を展開する。	5	企画競争	100
6	横浜ランデヴープロジェクト実行委員会	アーティスト・クリエイターを障害者地域作業所等に訪問させ、個々の作業所の特性に合った商品を共同開発し、作業所利用者の工賃向上や生きがい創出、作業所の社会的認知の向上に資する。	4	企画競争	100

B.文化芸術創造都市推進事業(ネットワークの構築・強化)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人都市文化創造機構	「文化芸術創造都市」に取り組む(又は、取り組もうとする)自治体を支援するため、情報収集・提供、施策分析及び会議・研修の実施等を通じて国内ネットワークを構築・強化する。	3	企画競争	100